

校長 遠藤 雅孝

等々力小学校に着任して3年間で、保護者地域の皆様のご理解とご協力により、子どもたちは素晴らしい成長をしていると実感しています。等々力小学校の伝統を継承しつつ、今年度も、更によい学校にしていきたいと考えます。令和8年度は開校70周年の記念の年です。等々力小学校に関わる全ての人たちにとって Well-being な年度にしていきたいと考えております。今年度も引き続き『子ども・関わる大人 みんな Well-being』を等々力小学校のスローガンとさせていただきます。職員一丸となって取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

等々力小学校スローガン **子ども・関わる大人 みんな Well-being**

【教育目標】

- よく考え実行する子ども【(知) 課題を見出し、解決方法を考え探究する。】
- なかよく助け合う子ども【(徳) 共感・協働するなど、対話的に学び、つなげる。】
- 健康で明るい子ども【(体) 人や社会、自然などに主体的に関わり、働きかける。】

《令和8年度重点目標》

愛情ある共感的な児童理解、褒める指導を徹底し、以下の重点目標を実現することにより、**自信・共感・自律(非認知能力の育成)**を目指す。

◎重点目標1 新しい知を創造する教育を推進する。

- 様々な事象と向き合い、**課題解決**を目指して情報収集や協働して学ぶ「**キャリア教育**」を通して、社会で生きるための資質・能力の素地と**自信**を培う。
- 各教科や特別活動を通して、児童が**目的**をもって活動すること、**協働的に学ぶこと**、**振り返り**をキーワードにした授業改善を行うことにより、「**せたがや探究的な学び**」の充実を図る。

◎重点目標2 多様性を受け入れ、自分らしく生きる教育を推進する。

- 学校の教育活動全体を通して、**多様な価値観**に対して**共感**する態度を育成し、児童が人権尊重の理念を正しく理解するとともに、**思いやりの心**や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする心情や態度を育て、**自律**へとつなげる。
- 全教職員で、配慮を要する児童や不登校傾向児童の心理的・身体的・衝動的変化を見逃さず、情報の共有を図って児童理解や指導に努める。保護者や教育相談機関と連携を図り適切な指導や児童理解に生かす。
- いじめは、どの学校でも**どの子供にも起こり得る**との認識の下、教職員がいじめを見逃さず、組織的に対応していじめから子どもを守る。また、保護者、地域関係機関等との緊密な連携により、いじめ問題を解決に導けるようにする。

◎重点目標3 地域と協働した教育を推進する。

- 児童が学ぶことや協働すること、共感の意義を実感できるように、学舎や関係機関、地域との**連携**を図り、**特色ある教育活動**を展開し、体験的な活動を通して「**キャリア教育**」「**せたがや探究的な学び**」の授業実践の充実を図る。
- 校内研究や研修、OJT を推進し、教師が人間性や創造性を高め、子どもたちに向き合い、効果的な教育活動ができるようにする。
- 学校における働き方改革を推進し、**質の高い教育に転換**を図り、**教職員が元気に笑顔で児童に接**することができるようにする。

令和8年度学校経営方針の重点と具体策

昨年度子どもたちと教職員で作った70周年のスローガンです。

令和8年度の合い言葉は、70周年のスローガン

『**全員が主役 みんなでつくる 最高の学校**』です。

- 全員が主役** : 子どもたちはもちろんのこと、教職員、保護者、地域の皆様全員が主役
- みんなでつくる** : 「判断・相談・挑戦」をして、主体的に取り組む
- 最高の学校** : 学校を中心とした、地域コミュニティを構築し、関わる全ての人にとって Well-being である学校

※「判断・相談・挑戦」には

- ・判断：自律した生活を送るために、自分でしっかりと考えて行動して欲しい。
- ・相談：協働的な学び、悩み事も含め、たくさんコミュニケーションをとって欲しい。
- ・挑戦：苦手なことにも挑戦し、なりたい自分を目指して欲しい。

このような願いがあります。

(1) 組織的な対応 チーム等々力小

○愛情のある共感的な児童理解・多様性の理解を大切にしていきます。

- ・叱咤では伸びないことを共通理解し、褒める指導を心がけます。自己肯定感を高めていきます。
- ・児童の呼名の際は全員「さん」付けで行います。

○保護者・地域と連携し、共に子どもたちを育てている意識をもち組織的に取り組んで参ります。

○学校運営協議会、活動チームとの連携

- ・**副校長補佐任用** ・取組自体はこれまでと大きく変更はありません。

(2) キャリア・未来デザイン教育の推進 ※引き続き「なりたい自分になる」を合い言葉に

～**世田谷区の施策です。全教育課程でキャリア・未来デザイン教育を推進します。**～

○「キャリア教育」

- ・将来の夢や職業に就きたいということだけではなく、異学年交流や友達との協働的な学びから「**こんな自分になりたい**」と目標をもって取り組むこと全てがキャリア教育であると考えます。
- ・保護者や地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、自身の職業の紹介や、やりがいについてお話しいただく授業を高学年で行います。
- ・キャリアパスポートの有効活用をお願いします。

保護者による職業講話大きな成果ありました。

- ・みしまの森学舎の幼、保、小、中と交流し、11年間を通しての人作りを推進します。

令和8年度は、「**魅力ある学舎に関する研究**」の研究指定校です。

- ・上級生が下級生の憧れとなり、上級生を目標として取り組めるようにします。
- ・**委員長会議**を中心とした児童の発意・発想を活かした取組を支えます。
- ・**とど活ハッピープロジェクト**を推進します。

○学舎や近隣の教育機関、官公署、公園等、地域と連携を図り、特色ある教育を展開します。

(3) せたがや探究的な学びの推進

○せたがや探究的な学びの4つのサイクル

- ①課題を見出し把握している
- ②課題解決の方法を考えている
- ③協働して学んでいる
- ④学びを振り返り次につなげている

★特に学習課題を児童の言葉でつくる・振り返りを充実させた、児童が目的意識をもって取り組む授業をめざします。

○ユニバーサルデザイン授業

- ・すべての子にとって学びやすい環境、授業を行っていきます。

○各学級で図書時間の充実、図書委員会の活動、図書司書との連携、とどろき絵本の国との連携、コラボ給食の充実等を行い、本が大好き！と感じる児童を育成します。

○OJT を推進

- ・校内研修を充実させ、OJT を推進していきます。

(4) 教育 DX (Digital Transformation) の推進

○ICT 担当を中心とした全校での取組

- ・タブレットの文房具的フル活用を全学年全学級で推進します。アナログの良さも見直します。
- ・**情報モラル、ネットリテラシーの指導**をしっかりとしていきます。各家庭での協力をお願いします。
- ・学校日記の更新等、学校ホームページを充実させていきます。

(5) 生活指導・安全危機管理

○集団生活のルールを身に付け、自らの安全への危機意識を高め、自律できるように指導します。

○「あいさつ・返事・お礼の言葉」を合言葉にします。まずは大人の**率先垂範**だと考えます。

あいさつ……………コミュニケーションの第一歩です。

返事（反応）…授業でも日々の生活でも人と人がつながっていく大切なことだと考えます。

お礼の言葉……友達同士でも、先生方にも、自分の家族にも、そして、地域の皆さまにも、ちゃんとお礼が言える、礼儀正しい子に育てて行きます。

○「**子どもがいるところには必ず大人がいる。大人がいないところには、子どもはいない。**」

を厳守で行います。

○不登校の未然防止

- ・保護者、担任、学年、専科教員、教育相談主任、特別支援教育コーディネーター、SC、インクルーシブ教育支援員、エデュケーション・アシスタント 養護教諭、関係機関等が連携し、未然防止に努めます。

○いじめ未然防止

- ・組織的な対応は不登校と同様に行います。しかし、いじめは、いつでも、どこでも起こり得ます。早期の組織的な対応で解消していきます。また、道徳、学級活動、日々の生活指導等で、「**いじめは絶対に許されない**」ことを理解させ未然防止に努めます。

○働き方改革を推進し、教職員も健康で業務を遂行できるようにしていきます。